

オオキンケイギク

1 特徴

- ・高さ30cm～70cmになるキク科の多年生草本
- ・茎は根元から束状に多数生育
- ・葉は細長いへら状
- ・花は直径5～7cmのオレンジ色
- ・生育場所 河川敷、道路沿い等の日当たりのよい場所



ヒメヒマワリ

※ヒメヒマワリと花は似ているが、
オオキンケイギクの葉は細長い
へら状
ヒメヒマワリの葉は幅が広く周
りがギザギザ
ヒメヒマワリの開花期は6月か
ら10月頃と長い

2 どんな被害を引き起こすのか

- ・繁殖力が旺盛で、大きな群落を形成 他の植物に届く光を遮り生育を阻害する
- ・河川敷に固有の在来植物の減少を招く

3 発芽・開花・結実の時期

開花 5月から7月 結実 6月から10月 越冬する

4 駆除方法

①抜き取り（根絶を目指す）

- ・スコップ等で根ごと抜き取る 種子のほか根茎でも広がるので根ごと抜き取る
- ・実施時期は、種子を散布する結実期が始まる前の5月頃まで（年1回以上）

②刈り払い（抑える 広範囲を防除したい場合に適する）

- ・刈払機等で地上部を刈り取る 開花・結実を抑制できる
- ・年3回以上 5月頃まで 1回の刈り取りでは切株から多数の茎が発生する